

九州新幹線西九州ルート整備についての意見書

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の整備は、西九州の産業振興や交流人口の拡大、地域の活性化につながる重要な交通基盤であり、平成23年3月に全線開業した鹿児島ルートと一体的な整備を行うことで、アジアの玄関口である九州地域の一体的浮揚をもたらすとともに、関西・中国圏との連携による社会経済の発展にも大きく寄与するものであります。

西九州ルートについては、平成24年6月に長崎延伸と肥前山口～武雄温泉間の複線化を一体的に整備し、フリーゲージトレインを導入する計画が認可され、現在まで工事が順調に行われております。

また沿線地域においては、官民が一体となって新幹線の効果を最大限に発揮できるよう、平成34年の開業時期に併せ、ソフト、ハード両面から新幹線を活用した魅力あるまちづくりに取り組んでいるところであります。

このような中、昨年12月の技術評価委員会でフリーゲージトレインの技術開発の遅れが報告され、本年3月8日に国土交通省より武雄温泉駅で在来線特急と新幹線を乗り継ぐ「リレー方式」により、平成34年度に暫定的に開業させる案が佐賀・長崎両県に対し提案されました。

このような事態に対し、新駅が設置される嬉野市においては、今回提案されたリレー方式による暫定的な開業では、その効果についての期待が持てないこと、また平成34年度の全線開業を前提に進めている駅前周辺整備事業などのまちづくりにおいても、大きな影響が予想されること等から、不安や懸念の声が日増しに強まっております。

よって嬉野市議会は、西九州ルートの整備に関し、下記の内容の実現について、強く要望いたします。

記

- 1 平成27年1月の政府・与党申し合わせを厳守し、開業時期を平成34年度から可能な限り前倒しすること。
- 2 フリーゲージトレインによる平成34年度全面運行に代わる今回の開業のあり方については、あくまで暫定的なものであることから、できるだけ速やかに、山陽新幹線への相互乗り入れを前提とし、最も安心安全で新幹線本来の時間短縮効果が発揮できる「全線フル規格」での運行を決断すること。
- 3 フリーゲージトレインによる平成34年度全面運行に代わる開業によって生じる追加費用は、全額国で負担すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年3月18日

嬉野市議会
議長 田口 好秋

内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
総務大臣
財務大臣
国土交通大臣 宛